さとしょう

議会だより

No.100

2020.5.1

岡山県 里庄町議会

100号までの変遷

- 令和2年度 当初予算 ……(2)
- 令和2年度 身近な事業 ……(4)
- 当初予算に対する質疑 ……(6)
- 令和元年度 補正予算 ……(11)
- 町政を問う！（7人が登壇）……(13)
- 100号記念特別企画（町民の声、こえ、こえ）……(21)

議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

3月 定例会

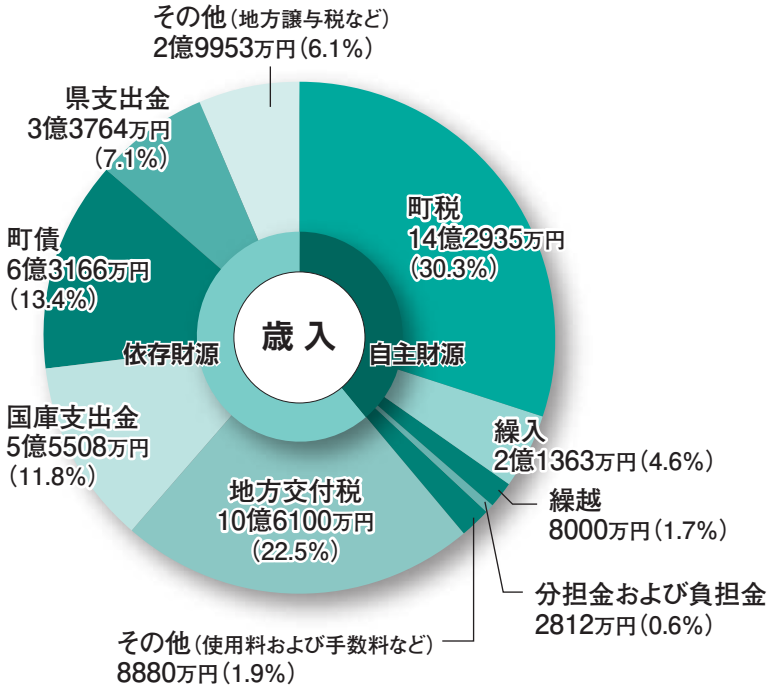
令和2年第1回定例会は3月4日から19日までの会期で行われました。条例の一部改正が2件、一般会計を初めとする補正予算が7件、一般会計を初めとする当初予算が9件、その他モーターボート競走の施行、固定資産評価審査委員会委員の選任と、全部で20件の議案が上程され、令和2年度一般会計当初予算は修正動議が提出され、賛成多数で修正案が可決、その他はすべて原案通り可決・同意しました。

令和元年度補正予算及び令和2年度当初予算は、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。

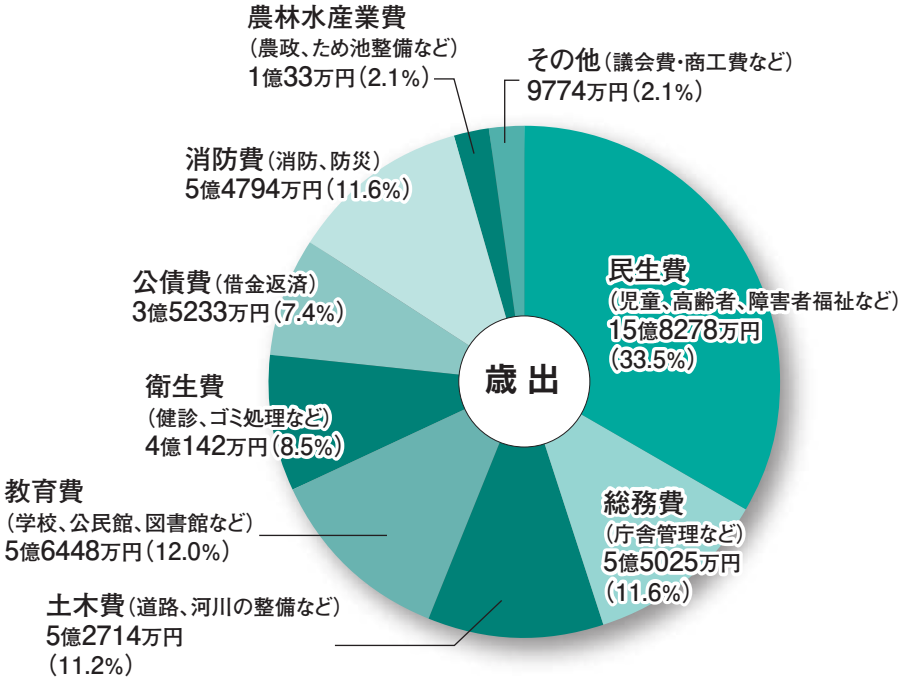
なお、一般質問には7人が登壇し、町の姿勢や考えを問いただしました。

で可決 賛成5：反対4

歳入総額　47億2481万円



歳出総額　47億2481万円



令和2年度 当初予算

一般会計予算 47億2481万円

令和元年度一般会計補正予算は全会一致で可決

原案賛成！ 小野光三議員
安全・安心な駅前広場

事務事業、消費的経費や投資的経費を削減した予算編成が伺える。
安全・安心な住民ニーズをしっかりと捉えた施策。
里庄の玄関である里庄駅前広場等整備事業は、住民の安全・安心を考えると、これからの里庄にとって必要。原案に賛成。

原案賛成！ 小野光章議員
有効な形で執行

学童保育教室の新築、小・中学校への校内通信ネットワークの整備、また健診の充実、通学路の危険ブロック塀の撤去補助など、しっかり予算組みされてる。
駅前の町道整備は避けるべきでない。
限りある財源を有効な形で執行しようとする思いが十分理解できる。

原案賛成！ 藤井典幸議員
通学路の整備・安全確保

里庄駅前広場等整備事業を含め、多くの人が通学路の整備や安全の確保の必要性を訴えている。
歩車分離は共通認識である。子どもや通勤者の安全確保は、必要。1日に2600人通る道が、里庄町内どこにある。多くの人が利用する道の安全確保は絶対必要。

原案賛成！ 仁科千鶴子議員
将来を見据えた予算

記念事業は節約に努めながら町民の笑顔が見える内容。
歩車分離の駅前が実現すれば、町民が安全に歩くことができる。この事業は、交通安全対策の事業。
限られた予算の中でありながらも、時代に沿った、将来を見据えた予算の編成。

修正賛成！ 平野敏弘議員
中途半端な駅前整備

昨年3月議会、9月議会で反対して修正動議をした案件を、議論もしないでなぜ上げるのか。
中途半端な駅前整備では、里庄町がすばらしい駅前にはならない。
大事なことは税金を無駄なく公平に使うべき。

修正賛成！ 高田卓司議員
無為無策の予算

多くのやらなければならないことが山積みの状況下で、駅前整備はすべきではない。
2回修正したものを、何の説明努力もなしに予算を出してくる。議会軽視。住民無視と言わざるを得ない。住民の負託に答えようとする姿勢に欠け、無為無策の予算。

修正賛成！ 佐藤耕三議員
必要以上の投資

人それぞれ考えはある。駅周辺の見ばえが悪くても、日々の生活の中で豊かさを感じる町のほうがいいと考えている。
財政が厳しく、特に高齢者に対する福祉が後退していると思われる中で、この駅前整備は必要以上の投資である。

修正賛成！ 仁科英麿議員
全体の開発構想を

駅前広場の整備は必要だが、まず地域全体の開発構想をつくり、整備計画をつくることが必要だ。
今後どのように整備していくのか。戦略を考えて、実現していく方法があるのでは。
火葬場使用料、手数料助成金は必要。継続をしていくべき。

事業！行います。

・町の施設に防犯カメラを設置。
・AEDの設置場所の表示やマップの公開
・安心して住みやすい町を望みます。

柳本　将
（殿迫 男 10代）

災害情報伝達システム 3億378万円

災害発生時の伝達として、役場からの発信で、笠岡放送、分館放送、携帯電話に一括送信できるシステムの保守及び工事費です。

自主防災組織 210万円

自主防災組織の立ち上げ、組織の活動に対する経費の補助をします。

消防備品購入 404万円

団員の安全確保を目的とし、長靴、活動服、耐切創性手袋、安全帽の購入、防災無線設備3基を更新します。

ふるさと納税事業 1500万円

ふるさと納税を受けた時の返礼品等一切の処理を委託するもの。寄付金額3000万円を見込みます。

産業文化祭 491万円

民間業者に委託し、効率化、事業効果を高めるための諸費用です。

各種のイベントが楽しい企画になっており、大勢の方が参加しやすい環境だと思います。

田邊美子
（大原西 女 50代）

防犯灯事業 630万円

防犯灯の電気代をはじめ、修繕、新設に対応します。

合併浄化槽設置助成 589万円

下水道認可区域外の区域において合併浄化槽を設置し、汚水処理未普及解消に繋がる場合に助成されます。

また、単独浄化槽から合併浄化槽に転換する場合の単独浄化槽撤去費および宅内配管工事費についても助成されます。

自動車急発進防止装置整備費補助金 30万円

ブレーキとアクセルを踏み間違えた時に作動する装置の取り付けに補助します。

保育園施設給付 4123万円

保育所に対し法定外援護で運営を円滑にして貰います。又、延長保育、障がい児保育の事業にも補助金を給付します。

障がい者扶助 2億7819万円

障がい者の、日常生活と社会生活を総合的に支援する為の扶助です。

高齢者タクシー料金助成 392万円

75歳以上で、対象要件に合致する人に対し、タクシー券を助成します。

各種社会福祉団体への補助 3510万円

社協、シルバー、民生委員会への活動に対する補助です。

保育所給付費 3億2246万円

かすみ・里見両保育所に対し法定内の給付です。

児童発達支援 4846万円

障がい児の発達支援や放課後等デイサービスなどに対する扶助です。

妊婦一般健康診査 825万円

妊婦が受診する一般検診で、町の補助分です。

小児医療費 5862万円

0歳から中学校卒業までを対象に、医療費を無料とします。

子育て世代が暮らしやすい町！今後も多くの人がそう感じる町であってほしいです。

赤堀美穂
（本村 女 30代）

令和2年度の身近なこんな事業を

住みよい町づくりを希望します。歩道の安全性をめざしてください。
坂田智里（本村 女 50代）

道路新設改良 4100万円

道路の拡幅等、分館要望に基づく町道の改良を行います。

河川維持浚渫 400万円

井溝川、池田排水、妙見川の修繕、浚渫工事を行います。

ため池等整備負担金 800万円

県営事業として整備している浜中南地区の皿池大池改修工事に伴う町負担金です。
工事費4000万円に対する負担率は20％です。

危険木伐倒 215万円

虚空蔵山系の林道沿いで、松食い虫の被害木を対象に、危険な立木について、伐倒します。

つばきの丘運動公園 1783万円

つばきの丘運動公園の管理運営に関する諸経費。
主なものは、シルバー人材センターへの委託料906万円等です。

地籍調査 6734万円

地籍簿・地籍図の作成及び現地調査・測量を実施します。

校内通信ネットワーク整備 3615万円

小・中学生に最適なICT環境を整備します。

幼稚園預かり・小学校学童保育 2555万円

東西幼稚園・小学校における、預かり・学童保育運営に補助します。

保育園への受け入れ拡充、もしくはげんキッズの託児人数を増やすなど検討お願いします。
貝原翔子（大原中 女 30代）

学童教室改修工事 6121万円

西小学校の児童クラブ教室が利用者の増加に対応するため建て替えます。

西小学校施設改修 330万円

視聴覚準備教室の改修工事を行います。

小学校自動車購入 206万円

東西小学校に、軽自動車を各1台ずつ公用車として購入します。

学校生活支援員 3780万円

幼幼稚園、小中学校に生活支援員を27人配置し、学習活動の支援を行います。
小・中学校では、特別支援学級にも配置し支援を行います。

学校用地購入 3566万円

中学校の敷地内にある借用地8筆分の購入費です。

工事が始まった皿池大池

3月定例会

質疑

▼企画・土木費の減少はなぜ
▼70周年記念イベントは特別か
▼何年計画で装備を充実か

令和2年度当初予算に6人が質疑を行いました。

令和2年度予算総括

企画・土木費の減少は

高田議員 職員の駐車場使用料徴収についての考え方をなぜ変えたのか。

総務課長 借地料や工事代が生じた。厳しい財政状況なので、4月から職員が負担して財源の一部に充てたい。

高田議員 検診の収入が減った理由は。

健康福祉課長 例年受診者数を出し、それに基づいて計算している。受診者が若干減少した。

高田議員 企画費600万円減、土木費1億5000万円減、なぜ減ったのか。工事量を減らす予定なのか。

企画商工課長 振興計画策定費用、プレミアム商品券等事業がなくなった。マコモタケ関係費用の削減。

農林建設課長 駅西の橋の改修工事7000万円、232号線の狭あい道路整備事業6000万円等大きい工事が終了した。

高田議員 駅前広場整備事業は、議会で反対という意見が出たものをまた上げてくる。議会軽視も甚だしい。考えを。

町長 議会の採決の重みは、大変重いものと承知している。駅前道路の安全性と駅利用者の利便性を確保するためにはどうしても必要。

将来のために、駅前の整備は必要不可欠である。地権者の状況・将来設計、国・県の調整や交付金を考えると、このタイミングを逃すと実施困難になる。

再度、全体事業費を把握するための設計委託料を計上した。

高田議員 駅前整備事業について、議会に事前に相談したか。他の方法を考える余地があるのでは。

町長 私は全員協議会等では説明していないが、これまで何回も同じ内容で説明している。

現時点でやらないと、この先非常に困難である。有利な起債等・償還も慎重にしていく。

農林建設課長 全員協議会で説明した。

税金を公平に使って

平野議員 学校用地購入費3566万円を予算計上しているが、土地は全部売ってくれるのか。

総務課長 地権者に説明会等を開催している。

今後、用地交渉の契約を進めて、全ての土地を取得していくように進めていきたい。

平野議員 駅前広場に関して、議会が否決したものをなぜ上げたのか。

今回も否決されたらまた来年も上げるのか。

税金を公平に使って、町民が納得がいく事業をするのが行政のやり方ではないのか。

町長 結果は重要だと受けとめる。

このタイミングを逃すとこの事業実施は非常に困難であると認識している。

これから先のことはこれから考えたい。

駅前道路の安全性の確保、駅の利便性の向上、それが公平な観点からどうしてもやりたいと考えている。

70周年記念イベントは

仁科千議員 一般会計の2億8000万円増の要因は。

総務課長 災害情報伝達システム整備事業の2億9975万円。里庄西児童クラブ校舎建て替え工事6121万円、小・中学校の校内通信ネットワーク整備事業3945万円が要因と考える。

仁科千議員 会計年度職員の人件費増はいくらか。投資的経費は全体で何%になるのか。

地方債、起債、交付税が入るが、どのようになるか。

総務課長 人件費が1億2000万円、17・9%の増。

投資的経費の中で、普通建設事業費5億8425万円、全体の12・3%。

地方債が、一般会計の起債残高の見込み額、36億5444万円、そのうち元利償還が、普通交付税に全額算入されるのが20億4484万円。

残りの16億1059万円が道路や学校施設、災害情報伝達システムなどの整備のための起債としている。

交付税16億円のうち、半分の8億円は返ってくる。

仁科千議員 町制施行70周年記念は特別なイベントをするのか。

企画商工課長 記念事業として、「開運！なんでも鑑定団」出張鑑定という番組を実施して、里庄町を全国にPRしたい。

町民には親しみを、町外の人には里庄町への興味関心を持っていただこうと考え、企画している。

会計年度任用職員制度

岡村議員 会計年度任用職員制度の算出方法・基準は。

総務課長 正規職員と同じ給料表を使用。労働時間等に基づいて、それぞれの率によって計算する。

岡村議員 宿直員、学校生活支援員は時給が上がっているのか。

総務課長 月額の給料を時給換算するので、多少上がった人がいる。宿直は特殊な計算方法により算出している。

消防団の装備の充実

藤井議員 消防団の備品購入費404万円は、どれくらい装備するのか。

何年計画で装備を充実するのか。

総務課長 救助用の半長靴は、すでに2年間で何足か購入している。残り全て購入予定。雨具・ヘルメットは3年計画で購入。

手袋は、早急に全員支給する。

上手くなるぞ！（里庄西児童クラブ）

奨励金事業の企業は

仁科英議員　企業立地促進奨励金事業の企業はどこで、申請・認定はいつ行われ、条件に合致していたのか。

　債務負担行為にした理由は。

企画商工課長　株式会社最上川環境技術研究所に要綱に基づき支給する。申請・認定は平成30年7月で、面積要件等条件は合致していた。

　交付決定は今度の申請に基づいて5カ年の分割支給なので、4年分が債務負担行為となる。

　計上方法等は、県に確認し県と同様の方法。

仁科英議員　土地開発公社公共用地の取得の進捗状況は。

農林建設課長　面積ベースで約90％取得済み。

仁科英議員　町税が前年と同額の理由は。

町民課参事　法人町民税の税率の改定を見込んでいるためほぼ同額となっている。

仁科英議員　地方交付税が4000万円増えた理由は。

　会計年度任用職員の人件費が入っているのか。

総務課長　幼児教育の無償化、地域社会再生事業費等の基準財政需要額の増加により地方交付税が増えた。

　会計年度任用職員の人件費は、交付税に見込んでいない。

仁科英議員　災害情報伝達システムをDXアンテナにした理由は。

　笠岡放送に入っていない世帯への対応は。

　有線が切れた場合の連絡は。

総務課長　既存のインフラを使い経費削減でき、個別受信機を全世帯に配布できることが審査員の評価を得て選定した。

　笠岡放送に入ってない世帯に対しては全世帯に引けるよう調整を図っていきたい。

　切れた場合には送れないが、スマートフォンにも情報を送れる。

町　長　役場から一人の操作でJ―アラート、気象情報、緊急地震速報などが個別受信機による音声と映像、画面に表示でき、分館放送もできる。

　現時点で考えられる一番良いシステムと考える。

仁科英議員　会計年度任用職員に変わり、前年と比べ4000万円一般財源が増え、交付税は100万円増えるが、不足分はどうするのか。

　給与を決定した考え方と民間とのバランスは。

総務課長　町村会を通じ国への要望も必要と思っている。

　国の資料を参考にしながら進めたもので、人事院勧告は、民間の企業バランスを考慮したものと認識している。

仁科英議員　学校生活支援員・給食調理員は前年と比べどうなのか。

教委事務局長　生活支援員は3人増え、約112万円。

　給食調理員の人数は変わらず約449万円。

　それぞれ人件費は増えている。

議会の質問と答弁のすれ違いが多い。「反問権の付与」は？なければ検討して欲しい。

徳山　容

常任委員会報告

予算決算委員会

　3月11日、12日、16日、17日の4日間にわたり令和元年度補正予算5議案、令和2年度当初予算9議案について、関係当局の出席を求め慎重に審査しました。

　令和元年度里庄町一般会計補正予算を含む補正予算5議案については、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

　令和2年度当初予算については、令和2年度里庄町一般会計予算、令和2年度里庄町国民健康保険特別会計予算は、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

　その他7議案は、全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

審査する予算決算委員会

当初予算修正案

修正案要旨

火葬場使用料助成が計上されていない。

住民の人が亡くなり、葬儀に際してもなお負担を強いられる措置に賛成できない。

98万9000円を予算化すべきと判断する。

里庄町駅前広場等整備事業で委託料800万円が計上。里庄駅前広場測量設計などの業務を委託しても、将来的に実施不可能と判断せざるを得ない。

従って全額を減額する。

井笠広域斎場

質疑

端数があるがなぜか

小野章議員 火葬場使用料助成金の98万9000円、昨年と同額ということだが、1体8000円と記憶するが、端数がなぜあるのか。

岡村議員 基本1体8000円となっているが、死産児等の使用料は違うので割り切れない端数がある。

事業とりやめ影響は

火葬場使用料は、当初予算に提案していないので、説明はしていない。

仁科千議員 里庄駅前広場等整備事業・火葬場使用料助成金計上の事業2件に、なぜ説明がないのか。

なぜ計上されたり削減されたりするのか。

町長 駅前整備事業については駅前道路の安全確保と、駅利用者の利便性の向上が主目的。

安全確保は、非常に大切なこと、やらないといけない。

仁科千議員 駅前整備事業を取りやめることによって影響が出るか

町長 将来に向けて町の発展に資する事業についての投資も必要と考える。

現実的に年に数件交通事故が発生している、その改善は難しい。

令和2年度 当初予算

会計名	金額
一般会計	47億2481万円
国民健康保険特別	10億5615万円
介護老人保健施設特別	3000万円
介護保険特別	11億1548万円
後期高齢者医療特別	1億7042万円
水道事業会計	3億7507万円
公共下水道事業会計	7億2869万円
育英奨学資金給与特別	25万円
町営墓地特別	369万円

特別会計反対！

財政調整基金を回すべき

佐藤耕三議員

国民健康保険料は子どもの人数が増えれば保険料が上がる均等割で計算されているため、他の保険に比べ保険料が高い。

財政調整基金に積み立てる約680万円を、国民健康保険料の軽減に回すべき。

町条例

一部改正

里庄町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童支援員養成研修については政令指定都市の長が行う研修でも可能になります。

研修受講の要件に、実務経験5年以上が追加されました。

また、みなし支援員の経過措置を3年間延長しました。

里庄町農業委員会の委員等の定数に関する条例

農業委員8人⬇9人
推進委員4人⬇3人
に、定数変更になります。

質疑

推進委員が減るとなぜ困る

仁科英議員 農家が減っているから、推進委員も減るということだが、なぜ困るのか。

農林建設課参事 町内全体の水稲の調査、農地のパトロール、今後、人・農地プランの実質化に向けた作業等を両委員が協力して行うことが必要。11人ということになると、担当区域の範囲が広くなり、全体数の12人は保ちたい。

仁科英議員 農業委員が1人増えると、年間の必要経費額は。

農林建設課参事 推進委員、農業委員の報酬は同額のため、全体数が変わらないので同額である。

仁科英議員 農業委員は農地等の利用の適正化の指針を定めるとなっているが、どうなっているか。

農林建設課参事 現在のところ、まだつくっていない。

仁科英議員 最適化の指針は何も見えてこない。事務局が頑張らなければならないがどうか。

農林建設課参事 事務局、農業委員会として検討をしたい。

仁科英議員 最適化委員は委員会に出ているのか、意見を言う立場にあるのか。

農林建設課参事 出席している。議決権はないが、意見を貰い、それをもとに考えている。

天まで昇れ

緊急質問

新型コロナウイルス感染対策について

佐藤議員 安倍首相が単独で判断した要請である。

町はなぜ全校休校の措置に至ったのか。

町長 海外で感染症が発生したときに、効果があったというエビデンスに基づいて国が発令したと認識している。

国にとって非常事態。方策に対して批判をするのではなく、自治体また住民一人一人がとり得る最大限の努力をして、この緊急事態をどう乗り切っていくか、一致団結し協力することが一番大切なこと。

佐藤議員 町は、休校期間の変更は考えるのか。

予定どおりの期間で実施するのか。

町長 まん延を防ぐためには非常に重要な時期。

国の要請どおり今のところやっていく。

佐藤議員 学童へ急きょ預ける場合、保護者への負担は。

教育長 国からは、新たに入る児童について、お金を貰わないという文面も届いた。詳細については、今後確認をして対応をしていく予定。

佐藤議員 町民を最終的に守るのは自治体の役目と考えるが、町独自の救援策は考えるのか。

町長 国の方針をよく見ながら金銭的なものではなくて、支援することがあれば支援していく。

令和元年度

補正

県の査定間違いにより保育園施設改修補助金が追加交付
新型コロナウイルス拡散防止で小・中学校が休校、緊急措置で学童保育に補助金

一般会計

かすみ保育園改修費借入元利償還補助金 2806万円

県からの補助金の追加交付があり、施設改修補助金と、借入元利償還補助金残額の一括交付を行うものです。

地籍調査 639万円

国からの追加補助金により、高岡地区の一部を前倒しで実施するものです。調査は、令和2年度の調査費用に繰り越します。

東西幼稚園預かり保育 63万円

利用者の増加に伴い、運営補助金を追加するものです。

放課後等デイサービス 142万円

利用者増加に伴う扶助費の追加分です。

学童保育 282万円

コロナウイルス拡散防止の一環で、小・中学校の休校措置となり、学童保育に対して、緊急の国庫補助金が決定したものです。

返還金の内容は

仁科英議員 障害福祉事業の過年度分返還金35万円の支出の内容は。

健康福祉課長 12月の予算で計上が出来ていなかったので3月で調整している。最終的に歳出の4分の1になるよう3月補正で計上している。

仁科英議員 予算査定はきちっと見る必要がある。今後の対策は。

健康福祉課長 今後きちんと精査して予算計上するよう努める。

副町長 今後、予算の財源内訳等、しっかりチェックしていく。

きちんと除菌してます（里庄西小学校）

3月補正の結果

会計名	補正後の金額	（補正額）
一般会計	45億7502万円	（348万円）
国民健康保険特別	10億9551万円	（99万円）
介護老人保健施設	4618万円	（215万円）
介護保険特別	10億9100万円	（816万円）
後期高齢者医療特別	1億6170万円	（50万円）
町営墓地特別会計	492万円	（66万円）

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任

里庄町大字新庄
江原　睦美氏

今年も満開

賛否表

○…賛成　×…反対　退…退席　欠…欠席

	議案名	議員名	平野敏弘	髙田卓司	岡村咲津紀	小野光三	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	藤井典幸	議決結果
3月定例会	議案第1号	里庄町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第2号	里庄町農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第3号	令和元年度里庄町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第4号	令和元年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第5号	令和元年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第6号	令和元年度里庄町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第7号	令和元年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第8号	令和2年度里庄町一般会計予算　修正案	○	○	○	×	○	×	×	○	×	修正可決
		令和2年度里庄町一般会計予算　修正部分を除く原案	○	○	○	×	○	×	×	○	×	
	議案第9号	令和2年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可　決
	議案第10号	令和2年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第11号	令和2年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第12号	令和2年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第13号	令和2年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第14号	平成2年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第15号	令和2年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第16号	令和2年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第17号	モーターボート競走の施行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第18号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同　意
	議案第19号	令和元年度里庄町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決
	議案第20号	令和元年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可　決

注）議長は採決に加わりません。（賛否が同数の場合を除く。）

3月定例会

一般質問

町政を問う

7人の議員が登壇して質問!

岡村 咲津紀 議員……14P
① 職員の働き方と会計年度任用職員採用

藤井 典幸 議員……15P
① 公共施設のトイレ

平野 敏弘 議員……16P
① 保育園の待機児童
② 町長のビジョン
③ 職員の働き方改革

髙田 卓司 議員……17P
① 殿迫地区の浸水被害についてのその後は?
② 図書館へがん専門のコーナーをつくっては

佐藤 耕三 議員……18P
① バイパス工事に伴う泥水
② 副町長就任一年間の実績
③ ジェンダー平等の社会への取り組み

仁科 千鶴子 議員……19P
① 幼稚園を認定子ども園に
② 公共施設等(福祉会館･老人福祉センター)の建て替えは

仁科 英麿 議員……20P
① 防災体制の整備、強化
② その他の課題4点
(受動喫煙対策、100歳体操への参加促進策等)

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

職員の働き方の取組みは

総務課長／適材適所の人事異動

問 町にとって、職員は財産であり、職員の待遇、働く環境の改善や、それぞれの職員が能力を十分発揮でき、町民のために役立つ仕事をしてもらうためには、職場環境が良好でないといけない。職員の働き方について町はどのように取り組んでいるのか。

課の異動等で精神的な負担が生じ、体調を損ねている職員や、長期療養休暇を取得している職員はいないか。

職員のメンタルケアの現状を含め、やる気を出す方策をどのように考え、対応しているのか

年次休暇の育休や有給休暇をとりやすい環境になっているのか。

総務課長 業務量に応じた適正な職員を配置させ、各職員における業務量の平準化、時間外勤務の削減など、働き方改革を推進している権限移譲等で、職員の業務量は格段に増え、業務内容の多様化、専門性も問われ、質も高いものが求められる。

適材適所で人事異動をするのがベストであり、課長を中心にモチベーションを上げ、業務に遂行していくことを心がけている。

ストレスチェックを年に1回実施し、いろいろなことが言える状態に心がけていきたい。

各課長がうまく関与や調整し、休暇をどんどん取るように指導ができていると認識している。

元気に業務に励む職員

岡村咲津紀 議員

会計年度任用職員とは

町長／同一労働同一賃金の観点で

問 4月から、正規職員と同じ恒常的な仕事を担う臨時非常勤職員は同一労働同一賃金に向けての是正の一歩である会計年度任用職員となる。身分の保障や勤務条件の改善、また期末手当の支給等がある。

新制度の職員募集は、有資格者の学芸員と日曜・祝日に出勤可能な公民館職員が1人、事務補助者が若干名で公募している。何人の応募で何人採用したのか。

今回の制度改正でフルタイムの会計年度任用職員は、何人の臨時と嘱託職員が移行したのか、それからこの年収が下がるっていうのはどれぐらい下がるのか

平成30年度に、事務局長は学芸員の採用予定は考えていないと答弁したが、急きょ募集する経緯は何か。

総務課長 応募は、全部で4人。その中で、学芸員1人は今決まっており、事務補助1人も決まっている。

今働いている職員は即戦力ということで、最終的には、我々と町長、副町長も含めて最終面談で選考を行った。年収は若干下がり条件が少し悪くなるということは報告した。

町長 会計年度任用職員は、法律の改正により、嘱託職員や臨時的任用の職員を同一労働同一賃金という観点で、法律を改正し、処遇改善をしていく改正である。

教育長 文化財保護委員の人が文化財や文化の向上について研究している。歴史民俗資料館の片づけや、展示の仕方等にも考えてくれたりしている。文化財保護委員の人が学芸員を入れてほしいということで、今回募集をした。

藤井　典幸　議員

公共施設のトイレについて

総務課長／検討する

トイレは、日常生活には欠かせない重要な施設。一部の施設のトイレが使用しにくいと言う声を聞いている。

問 トイレメーカーの調査では、女性の約75％の人が男女共用トイレを使うのに抵抗があるという結果が出されている。

男女共用トイレがある施設はどこか。

教委事務局長 福祉会館、老人センター、武道館、弓道場、テニス場、歴史民俗資料館、仁科生家、東幼稚園、西幼稚園。

問 トイレの改修には多額の予算が必要。利用者数の多い施設などから優先順位をつけて男女別のトイレにしてはどうか。

教委事務局長 場所の状況、費用的な負担や広さ等の確認をして、男女別トイレにできるか検討をしていきたい。

問 幼稚園のトイレは園児だけでなく、先生や、保護者・来園者も利用することから、男女別のトイレを設置することが望ましいと思うがどうか。

教委事務局長 保護者の利用状況や、現場の確認をしながら考えていく。

問 障がい者用トイレのある公共施設はどこか。

総務課長 本庁舎、健康福祉センター、つばきの丘運動公園、総合文化ホール、図書館、中央公民館、東公民館、東小学校、西小学校。

問 障がい者用トイレは設備が充実している。そのため乳幼児連れの人や要介護者と一緒に利用される人、足腰が弱く、和式便器を使用できない人なども利用している。

障がい者用トイレの入口に、「どなたでもご利用していただけます」と表示をしてはどうか、そうすれば、利用の必要性がある人が、ストレスなくトイレを使用できるようになると思うがどうか。

総務課長 本当に使いたい人が使えなくなることも考えられるので、研究をしていく必要がある。

問 台風や大雨、地震といった自然災害が各地で発生している。今や、災害は他人事ではない。防災意識が高まる中、避難所は身近なものになりつつある。

指定避難所とはどのような施設なのか。

町の指定避難所で障がい者トイレが無い施設はどこか。

総務課長 指定避難所とは、災害発生時に被害者が一定期間滞在・生活できる施設のこと。

仁科会館、西幼稚園、東幼稚園、中学校、武道館、駅前コミュニティーセンター、福祉会館。

問 災害が発生すると、避難所にはいろいろな人が避難して来る。指定避難所に障がい者用トイレがないのは、障がいのある人が安心して避難できないのではないか。

今後、計画的に整備する必要があると思うが。

総務課長 全ての施設に男女別のトイレや、多目的トイレを整備しておくことが望ましいと認識している。

指定避難所は、さまざまな人が避難してくるため、整備の重要性、優先順位もほかの施設に比べると高い。

費用的な問題や改修・増築が可能かどうかを考慮しながら検討すべきと考える。

また、介護等が必要な人は、福祉避難所として介護老人保健施設里見川荘と四つ葉の家を指定している。

安心して避難できない人については、福祉避難所で対応できると考える。

男女共用トイレ

入園を断ったのは何人か

町民課長／15人

問 保育園の待機児童は。入園を断ったのは何人か。

保育園へ入れたくても保育士が足りない。保育士を確保するため、町は保育園にどのような協力をしていくのか。

町民課長 1人が待機児童。入園を断った数は15人。

人件費の助成として保育所へ法外援護費を支給しており、近隣市町の中で最も高い。

障がい児保育及び延長保育の補助金も交付している。国や県の事業等を活用し、保育士の確保、離職防止に取り組んでいく。

平野　敏弘 議員

残任期の夢や希望は

町長／安心・安全のまちづくり

問 町長になって2年間、任期の折り返しを過ぎた。残りの任期での夢や、自分の希望は。

町長 今年は、町制施行70周年の記念の年になる。

本年度の取り組みは、安心・安全のまちづくり、福祉の増進、教育、子育て環境の充実、歴史、文化の保存、スポーツの振興などに重点を置いている。

ハード整備は、国直轄の玉島笠岡道路が令和7年度に、県の事業である浜中バイパス、川南干瓜線が開通する予定である。災害復旧、防災・減災事業で、ため池や河川の整備を進め、災害時の情報伝達体制の確立や消防団の配備品の充実も進める。

福祉の推進、教育、子育て環境の充実で、障がい児の相談、放課後等デイサービスを開始する。教育は、小・中学校のインフラ整備、西小学校の学童保育園舎の建て替えに取り組む。

4月から学芸員を教育委員会に配属し、歴史民俗資料館の収蔵品の整理や展示する。

議会との関係は、現状を勘案し、将来の町のためにお互いに理解と協力し合って施策を展開していきたい。

職員の配置は

副町長／適材適所の配置が必要

問 職員は、有効に活躍ができる部署に配置するのが、町や町民のためになる。

副町長 職員の人材育成や、透明性の高い人事管理を目的とし、必要な見直しを図り、公平性のある制度運用に努めている。

町職員の仕事は、有資格や専門性を必要とする職もあり、職員にはそれぞれの特殊性や得意不得意も当然ある。

適材適所人員配置やスキルアップの人事異動につなげていくことが必要である。

その他の質問
Q職員駐車場について
A町有地を有料で利用

髙田　卓司　議員

池田排水路、その後どうなった

町長／県は整備計画を立てている

問　池田排水路は、里見川へ合流し玉島へ流れている。

里見川下流の玉島地区にポンプ設置を、玉島、浅口市と一緒に県へ要望するように、前回質問したがその後はどうなったか。

町長　地元市町の意見を反映してほしいと県へ何回もお願いしている。

県は現在河川整備計画を立てている。

問　あれから2年になるが上流の里庄町が困るので、浅口市と歩調を合わせて強く要望すべきではないか。

町長　倉敷市、浅口市と連携を取りながら、強く申し入れをしたい。

問　鴨方駅北付近の改良の必要性もあるが、以前池田排水の手ノ際地区の改良をするという答弁だったがいつするのか。

農林建設課長　今年度、手ノ際地区を約45m整備する予定。

問　町界を鴨方へ入ったところに、護岸へタイヤを積み上げ流れが悪くなっている所があるが、早急に改修の要望をしているのか。

農林建設課長　あそこが崩壊すると殿迫地区が水浸しになるので、今要望している。

問　へんこつうどんの裏側に浅い所がある。ここを浚渫すれば水位が下がるが早急に対応してはどうか。

農林建設課長　今年度、町内何カ所か浚渫する予算をしているのでその中で対応を考えたい。

問　以前殿迫地区の手ノ際からの合流点に問題があるが、改良してはの質問に検討するとの答弁だったが。

農林建設課長　現場は確認したが、とりあえず下流の改修を今年度やりたい。

問　考えを変えて、川に流れ込む水を少し遅くすれば川の氾濫を少しでも防げるのではないか。そのためには田んぼに水を溜めて、川に流入する水に時間差をつける方法がある。

もともと田んぼにはダム機能があるので、このような方法を取る人にいくらかの補助金を出してはどうか。

そのことで浸水被害が、減るのではないか。

農林建設課長　池田排水路の水勾配がほとんどなく、流末の里見川の水位が上がるなどで、荒廃農地が多い里庄では田んぼダムの取り組みについては難しい。

図書館にがんコーナーを

教育長／前向きに考える

問　現在、亡くなる人の2人に1人は「がん」であると言われている。

しかし、「がん」に対する正しい知識がなかなか伝わっていない。

図書館に「がん」のコーナーをつくってはどうか。

教委事務局長　特定内容の本のコーナーを設置するのは整理上難しい面がある。

職員に聞けば検索し、案内対応ができる。

問　がんになった人は非常に心配であり、人に知られたくない。

心構えとか心配を和らげるためにも病気の本のところにがんに関するコーナーを設けたらどうか。

教育長　できるかどうかということも含めて前向きに考えたい。

泥水対応必要では

農林建設課長／できる限りの対応を要望

問 玉笠バイパスの工事に伴う泥水が干瓜川に流れた。
今後町としても対応が必要では。

農林建設課長 完全に土砂の流出を止めることは不可能と考えるが、沈砂池を増やすなど、できる限り要望をしていきたい。

佐藤　耕三 議員

副町長改めての抱負は

副町長／持続的に発展するまちづくりに力を注ぐ

問 副町長は就任し1年間どのように業務に当たったのか。

副町長 国や県の情報を提供し町長を補佐し、町長の指示や考えを職員に的確に伝えるよう努めている。また、職員とコミュニケーションをとり、明るく風通しのよい職場づくりに努めてきた。

町長 法律解釈や実例判例をもとに提言をもらっている。
県や国の最新情報を常に届けてもらい、また職員との情報共有の役割も果たしている。

問 駅前広場整備事業を今回も予算に上げてきた。
議会軽視という意見もあるが、町長のこの姿勢をどう考え、議会にはどう説明するのか。

副町長 今後、県や国と協議を行うためにもぜひとも必要なもの。

問 町長が副町長に求めることと、副町長の改めての抱負は。

副町長 振興計画の策定する中で、地域の優位性を生かし持続的に発展するまちづくりに力を注いでいきたい。

町長 職員に遠慮せずやってほしい。
私にも意見交換や提言をどんどんしてもらいたい。

ジェンダー平等の取り組みは

町長／人格の問題もあり国の方針を注視していく

問 ジェンダー平等実現のためにどのように取り組んでいくのか。

企画商工課長 講演会やセミナーなどの広報による啓発、悩み抱える人への相談体制を周知する。
LGBTの人々の個人の尊厳を守り、お互いに尊重し合う心豊かな社会を築いて行きたい。

問 中学校の制服を緩和する考えは。

教育長 今後可能性はあると思うが、現時点ではない。

問 パートナーシップ制度を導入する考えは。

企画商工課長 他の自治体の状況を引き続き注視していきたい。

問 国に対し夫婦別姓の働きかけは。

町民課長 現時点で働きかけする考えはない。

問 制度導入、政府への働きかけなど、ジェンダー平等への町長の考えは。

町長 ジェンダー、LGBT、またそれに関係してくる人格の問題もあり国の方針を注視していきたい。

仁科千鶴子 議員

幼稚園を認定子ども園に

教育長／難しく、厳しい

令和2年度、保育園・幼稚園の新入園児も確定。幼稚園に移行した人は、18人と聞いている。

問 各保育園・幼稚園児の数は。

町民課長 かすみ保育園2 28人、里見保育園1 26人。

教委事務局長 里東幼稚園4歳児22人、5歳児13人、合計35人。里西幼稚園4歳児16人、5歳児26人、合計42人。

問 「保育園希望だが、ポイントが足りないので幼稚園になった。昨年よりハードルが高い」と話しを聞く。昨年よりポイントの基準が変わっているのか。苦情・意見はあったか。

町民課長 今までは、週の労働時間を40時間、30時間、12時間と区切っていたのを、40時間、35時間、30時間、25時間、20時間、12時間と細分化する改定を行った。

30人以上の人に断りの電話を直接、個人個人に説明し、さまざまな意見をいただいた。

問 なぜ、預かり保育は無償化にならないのか。無償化の条件をクリアして、利用料軽減する考えは。

教委事務局長 対象施設に求める基準を現在満たしていないので給付対象にならない。施設、教員の資格、実施主体の変更等、少し検討をしたい。

問 幼稚園を認定子ども園に移行する考えは。

子ども園に移行した時の保護者・行政にとってのメリット・デメリットは。

教委事務局長 町にとってのメリットは、待機児童の緩和。デメリット施設修繕・人材の確保。

保護者にとってのメリットは、働き方が左右されずに、一貫して教育・保育ができる。デメリットはない。

教育長 認定子ども園で3歳児受け入れになると、今の幼稚園の部屋等では、増築しないといけない。職員をプラスしても、将来を見通したとき難しく、厳しい。

今の預かり保育を無償化になるような努力を、一生懸命検討していくほうがより現実的で、里庄のためにもいいと考えている。

耐震診断を見直し建て替えを

町長／再度診断

公共施設は、社会生活を営む際に利用する構造物、建築物であり、国民の生活向上に必要なもの。災害時に必ず必要となる。その福祉会館の耐震診断は、平成16年に実施。

問 福祉会館の利用状況は。不備なところはないか。

教委事務局長 大ホール385回、研修室251回、講義室198回、実習室98回、和室81回、合計1013回。利用団体は、文化協会、体育協会の専門部、カレッジクラブ等、部屋によっては、利用しない日がほとんどない状況。

外壁の防水塗装工事、屋上の防水工事、トイレを和式から洋式に改修を実施した。しかし、約50年経過し、修繕箇所の部品が製造されていない。

建具の動きがスムーズにいかない。壁にクラックが少し入っている。

問 老人福祉センターは避難場所として妥当か。

町長 耐震補強ができていないので、適切な施設とは言えない。

問 公共施設の15年前の耐震診断を見直し、建て替えの考えは。

総務課長 当時の耐震診断の震度はマグニチュード6、震度6・5強ぐらい。さらに経年劣化も進んでいる。国の起債とか補助があるうちに再度診断し、耐震補強か、建て替えがいいのか、考える必要がある。

仁科　英麿　議員

笠岡放送のケーブル 大地震のときなど、切れないか

町長／今ある情報基盤を利用したい

問 約3億円かけて、災害情報伝達システムを整備することが提案されている。

詳しく説明願いたい。

総務課長 災害時に正確な情報を迅速に提供するために、分館放送、スマートフォン、各家庭に設置する個別受信機に向けて、1回の操作で情報伝達する仕組み。

問 役場とは、どうつなぐのか。

総務課長 個別受信機は、テレビの横に置いて、情報が入ったらサインでわかるものにする。

問 笠岡放送のケーブルを使うと聞く。それを言うべき。

台風や大雨、大地震のとき、この有線のケーブルが切れないという保障は全くない。

新システムは、災害に極めて強いことが大前提でなければならない。

どう考えているのか。

総務課長 選定委員会でそう決めた。

無線でも、絶対大丈夫だという保障はない。

笠岡放送も、過去20年間幹線が切れた例はない。

町長 J―ARART等と連携させて情報を流し、災害の発生前に備えることが、非常に重要。

どんな情報手段でも、停電が起きたら、送ることはできなくなる。

問 無線も必要。停電したらどうせだめでしょうではない。発電機を設ければよい。

両方をうまく組み合わせてできないのか。

町長 今ある情報伝達基盤を最大限に利用したい。

問 危機管理がほとんどできてない。

里庄町では何が起きるかを徹底的に研究し、その時にどう対応するか、何が必要か、考えるべき。

津波、土砂災害など、起きてからも時々刻々に情報が必要では。

総務課長 そういったことにも対応できる。

問 笠岡放送のカバー率は。つないでない人への対処は。

総務課長 80％近いが、契約件数と住基世帯数は一致しないので、明確には言えない。

基本的には、1世帯1個別受信機としたい。

問 消防機関等の移動体や、病院などとの連絡のことも課題。

非常危機、想定よりもっと大きな東南海地震なども来るかもしれない。

一番重要ことの検討が幾つも抜けている。

3億円も使うのだから、もっと吟味してからスタートすべきでは。

総務課長 平成30年の災害以降、課題を整理し、現時点で当町に適したシステムを選定した。

この案で決定賜わりたい。

百歳体操に参加の動機づけを

健康福祉課長／検討したい

問 百歳体操への取り組み状況は。

健康福祉課長 2月末現在、22地区、289人が参加している。

問 通所付き添いサポート事業は。

健康福祉課長 現在4人が、サポーターの付き添いで、2カ所に、徒歩や乗用車で通っている。

問 この事業は、昨年9月に、42万円の予算で組んだもの。

4人のためにそのぐらい使っている。

百歳体操は、二百何十人。

動機づけに、皆勤賞など、どうか。

健康福祉課長 今後検討したい。

その他の質問

Q町内及び役場職員の喫煙人口は

A国の調査では17・7％

役場職員は約20％

Qたばこ税年間75百万円の一部10百万円を使って、福祉会館南側に、あずまや風、密閉型の喫煙施設を設けては

A健康寿命を延ばすことも考える必要があり、その考えはない

Q心不全マーカーを後期高齢者健診にも入れて

A医療機関で検査をして

100号記念 アンケート

町民の方に聞きました「現在の里庄 これからの里庄」

中学生以下を対象とする小児医療費給付制度等の児童福祉の継続及び充実を望みます。

柏原昌江
（八ツ的　女　40代）

新庄地区へ商業施設の誘致。将来、免許返納すると買物難民になりそうです。

塩谷真綱
（八ツ的　男　50代）

事故、事件、不審者など町内には防犯カメラを設置や意見箱を設置し、採用者には提案賞を。

岡本明子
（松尾　女　30代）

健康福祉課に管理栄養士配置を！乳幼児の食育、生活習慣病とフレイル予防の土台作りに。

細川良子
（川南　女　40代）

・街灯が少なく夜が暗い地域がある。
・議会の取り組みをもっと若者に発信してほしい。

磯田亮介
（西ノ平　男　10代）

人口増加（これからも活気ある里庄）のために、子育て世代が住みやすい町づくり（子育て支援や住環境整備、商業施設等）を充実してほしい。

安田一弘
（西ノ平　男　30代）

里庄町がPRしてきた美しい森をどうにかして使えるようにしてほしい。

金子雄哉
（古井　男　10代）

・浜中北に公園が欲しい
・野球場のトイレ・フェンス・バックネット裏のイスを新しく。

加藤悠嗣
（浜中北　男　30代）

・里庄駅前、周辺整備
・県道側にも駅の改札口をつくってほしい

平野律子
（千瓜　女　40代）

遊べる場所をもう少し増やしてほしい。

半田愛月
（林　女　10代）

安心・安全、明るい町創りに子どもたちの元気は欠かせません。社会問題化している子どもたちのアレルギーを学ぶ場を提供してほしいです。

岡﨑大輔
（西ノ平　男　30代）

議会で問題になっていることや取り組んでいることを若者に知らせる取り組みを行ってほしい。(里庄だより改善)

宮嶋大晴
（川南　男　10代）

駅北口改札と自動車乗降場を整備してほしい。

守屋浩子
（大原東　女　30代）

近隣市町村同様、公共施設予約をインターネットよりできるようにしてもらいたい。
毎月の抽選希望。

山本真由美
（殿迫　女　30代）

町民の方に聞きました

現在の里庄 これからの里庄

100号記念アンケート

里庄西小学校西側の通学路について、朝夕の通学時は車の進入を規制してほしいです。

平野正弘
（狭田　男　70代）

子供が安心安全に過ごせるよう通学路や公園に防犯カメラの設置をお願いしたいです。

岩元佳枝
（堂迫　女　40代）

里庄駅にエレベーターをつけてほしいです（お年寄りのため、重い荷物の時に不便なため）

山崎智奈美
（駅前　女　20代）

矢掛に道の駅が出来るそうですが、里庄にも道の駅をぜひ作ってほしいです。

中村慎二郎
（GC南　男　40代）

未来を担う子供達が安心・安全に成長できる防犯・防災に強い地域コミュニティの確立

笠原大智
（GC南　男　30代）

少し大きめのスーパーがあれば便利だなと思う。

小野皆星
（浜中南　男　20代）

町民の定住やUターンだけに頼らない、移住政策にもっと取り組んでほしい。

眞鍋裕嗣
（金山　男　30代）

・議会のことはよくわからないが、頑張ってほしい。
・里庄駅の改札口を反対側にもつくってほしいです。

遠藤智尋
（西ノ平　女　10代）

町民の意見を聞く為の場を設けて議員自身の声も聞きたいです。

小野光一
（駅前　男　70代）

今の里庄町はとても住みやすく町民の事を一番に考えていてとても良い町だと思います。

浅岡華帆
（笹山　女　10代）

私達の夢や希望を乗せた里庄号を、笑顔溢れる未来へと力強く運んでください。

西﨑香奈
（才田　女　20代）

里庄町は子育てしやすく、住みやすい町です。これからも安全で明るい町でいてほしい。

恒川裕恵
（千瓜　女　30代）

21ページもみてね♡

《第100号》
令和2年5月1日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618
編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとがき

新型コロナウイルスの鎮静化も見えない中、町民の皆様も、不安な日々をお過ごしの事と思います。「感染しない、させない」を自覚し、現状を乗り切りましょう。

今回は、100号記念版として、町民の皆様の一言を、掲載させていただきました。

今後も、何回かに分けて掲載します。ご意見を、お寄せ下さい。

（小野）

編集委員
委員長：小野光章　副委員長：藤井典幸　委員：仁科千鶴子　委員：佐藤耕三